

関係者各位

## 赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、プロロセントラム シグモイデスが最大31.0細胞/ml、ゴニオラックス ポリグラマが最大0.7細胞/ml確認されました。これらのプランクトンは基本的には魚介類には無害ですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、結果として魚介類を弱らせてしまう可能性がありますので、今後、海色や飼育魚の状態に注視してください。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大1.1細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日は、海水100mlを1mlに濃縮してプランクトンの検鏡を実施しております。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	プロロセントラム シグモイデス	ゴニオラックス ポリグラマ	アレキサンドリウム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)			
<b>片島 (別図⑦)</b> 採水時間 9:20 透明度 - m	2.0	17.7	34.1	6.6	31.0	0.0	0.5
<b>藻津定点 (別図⑨)</b> 採水時間 9:33 透明度 - m	5.0	17.6	34.5	6.9	6.1	0.0	0.0
<b>宿毛湾中央 (別図⑤)</b> 採水時間 9:42 透明度 - m	5.0	17.7	34.6	6.2	1.5	0.0	0.0
<b>青瀬山 (別図③)</b> 採水時間 9:56 透明度 - m	5.0	17.8	34.7	6.7	1.5	0.7	1.1
<b>ヒロウラ (別図①)</b> 採水時間 10:10 透明度 - m	3.0	18.0	34.4	6.6	3.5	0.4	0.1